

しおんだより VOL.67



薬剤部を中心に病院見学にお越し頂きました

世間は、ゴールデンウィークの雰囲気だった5月1日に、株式会社ビクトリーの皆様が、ご見学にお越しになりました。

世間はGWという時期でしたが、当院まで現場をご見学にお越しになりました。

「医療介護施設のサポートを通じて患者・利用者の健康を守る」ということを理念に、関西圏の医療介護施設運営を長くサポートされている会社様ですが、業界では誰もが知る大きな医療法人グループとも密接に関わっておられるところで、今回お越し頂いた中には、2名の薬剤師の先生方もいらっしゃいました。当院は、そういった病院とは規模も、位置づけも大きくことなりますが、薬物治療の質の向上と、薬局薬剤師少しでも参考になることをお伝えできればと、お受け致しました。

当院の特徴の一つに、チーム医療の推進があります。チーム医療という言葉そのものは、医療の現場では当然のように言われていることですが、実際には、なかなか進みづらいのが現状ではないかと思えます。当院では、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、柔道整復師、言語聴覚士、管理栄養士といった様々な国家資格者が、それぞれの専門性に基づきつつ、患者さんのベストな治療法を行っていくということが、ごく自然にできるようになっていると思えます。

中でも、どうしても薬剤部にこもりがちな薬剤師が、病棟で活躍している様子やそれを実現するための仕組みについては、とても興味深くご覧いただいたようです。もし、ご見学ご希望の医療関係者の方がいらっしゃれば、お気軽にお問い合わせ下さい。

スタッフ全体のベクトルを合わせるために

病院に限りませんが、みんなで力を合わせて一つのことを成し遂げるためには、みんなが同じ価値観を持ち、同じ目標を目指して取り組むことが大切だと思います。しかし、人間は当然ながら一人一人違います。色んな職種がいますし、育ってきた環境、働いてきた現場の経緯も異なります。

また、最近、当院ではケアスタッフに海外出身の人材が多数いますので、何もしなければバラバラになります。みんな一人一人が「患者さんのために」と思っている、それぞれの「良い」と思う基準がバラバラだと、どうしても、一体感が欠けてしまいます。

そこで、当院では、病院としての理念や、行動基準、倫理方針などを明文化したものをFAITHとして作成しただけではなく、それらを元に、毎朝（！）各部署で読み合わせをし、意見を交換しています。また、月に1回は全体朝礼でみんなが読み合わせをする機会を作り、理念の浸透と行動基準などの振り返りを行っています。はじめて7年ぐらいが経過しますが、少しずつ効果は出てきたのではないかと考えています。



月の1回の全体朝礼では、スタッフがみんなでFAITHを読み合わせ、意見を交換しています。



屋根より高い鯉のぼり♪の童謡がありますが、色とりどりの鯉のぼりが、快晴の青空を気持ちよさそうに泳いでいました。

大きな空をおもしろそうに泳いでいました

GWは、旅行に行くことはなかったのですが、お墓参りに奈良県五條市まで行ってきました。うちのお墓のあるお寺の裏手には吉野川があるのですが、毎年、GWには、沢山の鯉のぼりがその川沿いにずらっと並びます。

最近の大阪では、住宅事情もあり、こんな大きな鯉のぼり自体を見なくなりましたが、ここでは本当に大きな鯉のぼりを沢山見ることができます。

狭い空ではなく、広い空を、薫風を受けながら気持ちよさそうにゆらめいている鯉のぼりを間近で眺めていると、なんだか、大阪で毎日慌ただしく生活をしている中で溜まった疲れが、少しずつ解けていく感じがして、しばらく眺めた後はちょっと元気ができました。やる気をチャージするためには、こういう時間も大切だなと思いました。（文責：狭間研至）

しおんだより 第67号 発行日：令和8年5月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp